

★公開市民講演会（聴講無料） 「NHK ドラマにおける VFX の裏側」

8月30日（木）13:00-14:30 講義棟 6階 大講義室

近年、映像表現の幅の広がりやCG技術の進化からドラマにおいてもVFXが積極的に用いられるようになってきた。また、VFXは美術費、エキストラの人件費、撮影時間の短縮などコストの削減にも寄与している。

現在のNHKドラマ制作では無くてはならないVFX技術について、本年の大河ドラマ「平清盛」の舞台裏を通じて紹介する。

【講演者】兼沢将人（NHK放送技術局制作技術センター）

※他の講演を聴講される場合は、通常の参加受付が必要となります。

★公開講演会（聴講無料） 「オープンプラットフォームによる高度映像サービス最前線 ～『賢い』テレビが創り出す自由な映像社会～」

8月30日（木）14:45～17:15 講義棟 6階 大講義室

放送・通信といった情報伝送手段、TV・PC・タブレット・モバイルなどの情報利用手段、番組・投稿動画・ソーシャルメディアといった情報表現手段などの多様化と混在が加速的に進展する現代の社会で、誰でもが簡単に映像情報メディアを楽しめるようにするため、システムやサービスのスマート化が新たなパラダイムで進化しつつある。新しいサービスや技術に取り組む各機関の最前線で活躍するキーパーソンに、映像情報メディアが「つながる時代」の我々の生活をどう変えていくのか、一部デモを交えながらわかりやすく解説していただく。

【プログラム】1件30分程度を予定

司会：滝嶋康弘（KDDI研究所／調査担当理事）

(1) ハイブリッドキャストの展開と標準化動向

藤沢 寛（NHK） ※関連デモを実施予定（大会内デモセッション（31日午後））

(2) 未来型ケーブルサービス

松本修一（日本ケーブルラボ）

(3) 「Smart TV Box」によるケーブルテレビのスマート化

宮地悟史（KDDI）

(4) 「NOTTV」新たな放送メディアへの挑戦

石川昌行（mmbi）

(5) 地上デジタル放送波にIPを重畳するマルチスクリーン型放送サービス

赤藤倫久（朝日放送）

※他の講演を聴講される場合は、通常の参加受付が必要となります。

◆シンポジウム 1

「フレキシブルエレクトロニクスと映像情報技術」

8月29日(水) 14:00-16:50 講義棟4階 第1会場

フレキシブルエレクトロニクスは、その柔軟性と軽量さにより携帯型ディスプレイに変革をもたらすばかりでなく、印刷製法や Rollto-Roll 製法の適用による生産性の向上など、大画面ディスプレイ技術にも大きなインパクトを与えるものと期待されている。

本シンポジウムでは、次世代ディスプレイの有力候補として研究進展が著しいフレキシブルディスプレイに関する最新技術に加え、これらを支える材料基盤技術について講演をいただき、将来を展望する。

【プログラム】

司会：藤掛英夫（東北大）、別井圭一（日立）

開会挨拶 藤掛英夫（東北大）

(1) 超柔軟フレキシブルディスプレイ（予稿なし）

勝原真央（ソニー） 14:10-14:40

(2) 高移動度塗布型単結晶有機 TFT と表示デバイス

竹谷純一（阪大） 14:40-15:10

休憩（10分）

(3) 大画面化を目指したフレキシブルディスプレイ技術

中嶋宜樹（NHK） 15:20-15:50

(4) 透明ポリイミドの低線膨張係数化（予稿なし）

末永修也（三菱ガス化学） 15:50-16:20

(5) プリントブルエレクトロニクスのインパクト

鎌田俊英（産総研） 16:20-16:50

◆シンポジウム 2

『中国地域発イノベーション』

これまで、アントレ研では、起業工学研究者の活動支援を進めてまいりました。その活動の一環として、2000年の研究委員会発足以来、啓蒙活動を兼ねて年次大会、冬季大会でシンポジウムを開催し、活発な議論を行っております。

今回は、中国地域での大会開催に因んで、中国地域における産業振興、地域活性化に関するいくつかのケースを取り上げ、同地域特有のイノベーション論を議論すべく、シンポジウム「中国地域発イノベーション」を企画いたしました。

8月31日(金) 13:00-17:45 講義棟4階 第1会場

【プログラム】

開会挨拶 富澤 治 アントレ研究会委員長（高知工大）

座長：林 泰仁 (NTT-AT)

- (1) 【基調講演】次世代自動車のカーエレクトロニクスと地域産業振興 13:05-14:10
岩城富士大 (ひろしま産業振興機構)
- (2) なぜ、備後地方 (岡山県西部と広島県東部の一部) は株式公開会社が日本一なのか? (予稿なし)
崎谷文雄 (ローツエ) 14:10-15:00

休憩 (15:00-15:10)

座長：大場 充 (広島市大)

- (3) 島根発, 地元 IT 企業によるオープンソースプログラミング言語「Ruby」を活用した事業展開と地域活性化 (予稿なし)
井上 浩 (ネットワーク応用通信研究所) 15:10-16:00
- (4) 無機 EL 照明への挑戦
和辻浩一 (タツモ) 16:00-16:50
- (5) イノベーション人材育成による産業活性化-山口大学 MOT の取り組み-
福代和宏 (山口大) 16:50-17:40

閉会挨拶 倉重光宏 アントレ研顧問 (山口県産業技術センター)

★IEEE BTS 共催講演会

「IEEE BTS AdCom (放送技術ソサエティ理事会) における 多面的国際展開活動」

8月31日 (金) 10:30-11:30 講義棟 4階 第5会場

IEEE BTS (放送技術ソサエティ) の活動概要を紹介する。

報告者は2010年からこのソサエティの AdCom (Administrative Committee/理事会に相当) 委員を拝命している。AdCom 会合は映像情報メディア学会理事会や、国際標準化団体である IEC 評議会などと運営方法が異なるので、その相違点を中心に活動内容を紹介する。

IEEE BTS は、長い歴史のある「放送技術シンポジウム」を秋に、最近始まった「マルチメディアと放送ワークショップ」を春に開催している。また、放送技術者の多くが集まる米国の NAB, 欧州の IBC にブースを出し、それぞれの放送技術関連 Conference を共催している。これらの活動全般にも触れる。

【講演者】平川秀治 (東芝)

【進行】池田哲臣 (NHK)

★映像情報メディア学会主催 Android 開発講習会

「実践! Android アプリ製作」

スマートフォンが急速に普及しつつあります。スマートフォンの特徴はタッチパネルによる直感的なインタフェースや従来の携帯電話よりも大画面での情報提示に加えて、ワールドワイドに様々なアプリケーションが開発され、ユーザの好みに従ってダウンロード・インストールし、利用される点にあります。そ

のスマートフォンの OS の一つである、Android に関して、本講習会では、Android アプリ開発の未経験者や開発面で困難を覚えられた方を対象として、入門的などころから簡単なアプリを製作するまでを実践的に学んでいきます。

日時 2012年8月29日(水) 14:00-17:00

会場 広島市立大学 講義棟4階 年次大会 第3会場

定員 20名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加資格 ・年次大会講演・聴講参加者(大会聴講参加費(聴講のみ):会員5,000円, 非会員7,500円, 学生会員1,000円, 非会員学生2,000円)

詳細は年次大会開催案内をご覧ください

※映像情報メディア学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, IEEE
の正会員の方は会員扱いとなります。

・Android アプリに興味があり, 自ら開発できるようになりたい人。

講習内容・講師・時間

講習内容: アンドロイドアプリ製作の入門的などころを実習します。

- 1) 対象 ・アンドロイド開発をしたことのない方。
・アンドロイド開発をやろうとしたけど, うまくいかない方。
- 2) 目標 ・アンドロイドの開発環境が構築できるようになる。
(ADTやSDKのインストール, APKの作成と端末へのインストール, デバッグ方法など.)
・アンドロイドフレームワークの基本要素を簡単なサンプルアプリ製作で体験する。

- 例 ・カメラやセンサーを利用する,
・インテントを利用してアプリを結合する,
・ウィジェットを作ってみる, など。

講師: ブリリアントサービス 宅間俊志

所要時間: 180分(途中20分ほど休憩)

聴講参加申込方法

氏名・所属・電話番号をお書き添えの上, 下記年次大会係まで Email でお申し込みください。折り返し受講票(メール添付)をお送りいたします。当日は, 年次大会総合受付にて大会参加登録完了後, 講習会会場へお越しください。ご入場には大会参加章と上記受講票が必要となります。

ご用意いただくもの

以下の物をご持参ください。

- ・無線 LAN 対応のノート PC (メモリ:2GB 以上, OS:Windows/Mac/Linux, いずれでも可.)
- ・ご自分で eclipse (Helios, または, Indigo) のインストールを行っておいてください。
- ・ご自分のスマートフォン用の USB ドライバを PC へインストールしておいてください。
- ・Android スマートフォン (Android OS 2.2 以上)
- ・Android 端末との接続用 USB ケーブル
- ・microSD

をご持参下さい。

※インターネット接続については, 無線 LAN が会場で使用できます。

申込締切 2012年8月20日(月)

申込・問合せ 一般社団法人 映像情報メディア学会事務局 年次大会係
105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
TEL. 03-3432-4677 FAX. 03-3432-4675 E-mail: sako@ite.or.jp

★映像情報メディア学会主催 AR コンテンツ開発講習会 「SATCHE VIEWER を使って、AR コンテンツを動かそう！」

5 年ほど前から、現実世界に仮想のオブジェクトや情報を重ね合わせる AR (拡張現実感) という技術が出始めました。近年 iPhone や Android 携帯をはじめとするスマートフォンが急速に普及してきており、ハードウェアの変化 (CPU の高速化、画面サイズの拡大、タッチパネルなど)、開発環境の変化 (iOS, Android などの OS が主流となった、AR ライブラリの充実など)、携帯電話の用途の変化 (電話以外の目的に使うユーザーが増加) などにより、モバイル AR が再び注目されつつあります。一方で、AR コンテンツを制作・提供していく上で、AR 認識・表示アプリケーションの開発も必要とされ、WEB クリエーターやデザイナーの方々にとって大きな障壁となっていました。そこで、今回は汎用的な AR アプリケーション上で AR コンテンツを動かせる仕組みや手順を紹介し、実際に AR コンテンツを作成・動かす実習を行います。HTML/CSS, Javascript の知見があれば、より面白いコンテンツを作成することができます。

日時 2012 年 8 月 31 日 (金) 14:00-17:00

会場 広島市立大学 講義棟 4 階 年次大会 第 6 会場

定員 30 名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加資格 ・年次大会講演・聴講参加者

(大会聴講参加費 (聴講のみ) : 会員 5,000 円, 非会員 7,500 円,

学生会員 1,000 円, 非会員学生 2,000 円

詳細は年次大会開催案内をご覧ください)

※映像情報メディア学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 情報処理学会, 照明学会, IEEE の正会員の方は会員扱いとなります。

・AR に興味があり, スマートフォンで AR コンテンツを動かしたい人。

・AR, HTML, Javascript の概要・基礎を知っているとさらによい (初心者でもよい)

講習内容・講師・時間

目標 : スマートフォン上で AR コンテンツを動かすところまで。

題材 : AR が再生できる Android アプリ上で再生できるコンテンツ開発

聴講参加申込方法

氏名・所属・電話番号をお書き添えの上, 下記年次大会係まで Email でお申し込みください。折り返し受講票 (メール添付) をお送りいたします。当日は, 年次大会総合受付にて大会参加登録完了後, 講習会会場へお越しください。ご入場には大会参加章と上記受講票が必要となります。

ご用意いただくもの

ご自身のノート PC (無線 LAN 対応, テキストエディタが実装されている) 及び Android スマートフォン及び接続用 USB ケーブルをご持参下さい。

PC 環境 OS : Windows XP SP2, Windows Vista SP1, Windows7, .netFramework4.0 がインストール済みであること。

メモリ : 2GB 以上

Android スマートフォン OS : Android OS 2.2 以上

申込締切 2012 年 8 月 20 日 (月)

申込・問合せ 一般社団法人 映像情報メディア学会事務局 年次大会係

105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

TEL. 03-3432-4677 FAX. 03-3432-4675 E-mail:sako@ite.or.jp

★年次大会併催講習会

「初心者向けモバイルアプリ講習会：モバイルアプリの作り方を体験しよう」

本講習会は、iPhone や iPad などの iOS を搭載したモバイル機器で動作するアプリ制作の方法を楽しく学んでもらうための初心者向けの講習会です。

講習会では、テキストに沿ってプログラミングを行う演習形式の講習会となっており、開発したアプリを iPhone や iPod touch 上で動作させるまでの過程を体験してもらうことを目的としています。

一般的に、アプリを開発するためにはたくさんの情報や知識が必要ですが、本講習会はテキスト通りに開発を行うだけです。プログラミングについて全く経験がない方でも気軽に参加することができます。iOS のプログラミングに興味のある方、iPhone や iPod touch をお持ちの方で作成したアプリを自分の機器で動かしてみたいと思っている方、ぜひご応募ください。

なお開発用の Macbook は定員分を主催側で用意いたしますが、アプリを実装する iPhone, iPad, iPodtouch は参加者にご持参頂きます。

日時 2012年8月31日(金) 10:00-12:00, 13:00-17:00 (講習時間 お昼をはさみ計6時間)

会場 広島市立大学 講義棟4階 年次大会 第7会場

定員 20名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

使用機材 Macbook (主催者側が用意)、アプリを実装する iPhone, iPad, iPodtouch (参加者が持参)

参加費 映像情報メディア学会会員 5000円、非会員 10000円

聴講参加申込方法

参加をご希望の方は、氏名・所属・会員種別・所属学会・連絡先(聴講参加券送付先)を記載の上、下記講習会係まで E-mail でお申込み下さい。折り返し参加券・請求書をお送りいたします。聴講参加費のお支払いは、銀行振込か当日現金でお願いいたします。当日は年次大会総合受付併設の「モバイルアプリ講習会受付」にて参加券をご呈示下さい。

参加費お振込先 みずほ銀行 新橋支店 当座 0104159
口座名義 一般社団法人映像情報メディア学会

申込締切 2012年8月20日(月)

申込先 一般社団法人 映像情報メディア学会事務局 年次大会係
105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内
TEL. 03-3432-4677 FAX. 03-3432-4675 E-mail: kato@ite.or.jp

主催 映像情報メディア学会、東京工業大学・情報工学研究所

※年次大会の講演を聴講される場合は、別途参加費が発生します。

◆デモセッション (詳細は題目一覧：第24部門をご覧ください。)

ポスター+デモ(PC, タブレット, モバイル端末等)による講演セッション

8月31日(金) 13:00-16:00 講義棟4階 第5会場および第2会場

2012 年年次大会題目一覧

○印は登壇者

1 件 20 分 (発表 15 分, 質疑応答 5 分)

*印はフレッシュパーソン

第 1 部門 カメラ位置姿勢推定のための映像処理技術

8 月 29 日 (水) 9:00-10:20 講義棟 4 階 第 4 会場

座長: 磯 俊樹 (NTT ドコモ)

- 1-1 三次元物体の姿勢検出における 2D-3D マッチングの高精度化の検討
○小林達也・加藤晴久・米山暁夫 (KDDI 研)
- 1-2 ホモグラフィ分解を利用した複数マーカからのカメラ位置・姿勢推定
○巻渕有哉・加藤晴久・米山暁夫 (KDDI 研)
- 1-3 カメラ姿勢推定手法における頑健化の一考察
○三ッ峰秀樹・藤井真人 (NHK)
- 1-4 MEMS センサーと粒子画像流速測定法を用いたカメラの動きデータ計測手法の検討
○加藤大一郎 (NHK-ES), 武藤一利 (NHK), 岡本浩幸・Alessandro Moro (ライテックス),
関 敏一・水上慎太郎 (多摩川精機)

第 2 部門 VR 関連技術とその応用

8 月 29 日 (水) 10:30-14:00 (昼休憩含む) 講義棟 4 階 第 4 会場

座長: 井上哲理 (神奈川工科大)

- 2-1 A research of Depth Image Haptization System with Local Deformation
○劉 湘寧・赤羽克仁・佐藤 誠 (東工大)
- 2-2 Rendering of Moving Information using Haptic Feedback in Dynamic Image Sequence
○ジャヤシリ アヌシャ・赤羽克仁・佐藤 誠 (東工大)
- 2-3 頭部搭載プロジェクタによる球体スクリーンへの映像投影
○白石知明・小島 武・深井寛修・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大)
- 2-4 動的対象への投影型拡張現実感
○奥村光平・奥 寛雅・石川正俊 (東大)

休憩 (11:50-13:00)

座長: 磯 俊樹 (NTT ドコモ)

- 2-5 吹き矢の楽しさを増強する VR 空間の提案
○石川 優・浦野 幸・于 沛超・星野准一 (筑波大)

- 2-6 非固定カメラの動的キャリブレーションに基づく自由視点コンテンツ生成
○三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)
- 2-7 複数オブジェクトの追跡と分離の相互フィードバックに基づくスタジアム空間における自由視点映像生成
○山田健太郎・三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)

第3部門 画像符号化

8月29日(水) 9:00-12:10 講義棟4階 第5会場

座長: 杉本和夫 (三菱電機)

- 3-1 雑音除去およびグラデーション保存を考慮した階調削減と階調復元を用いた超高精細映像符号化の検討
○松尾康孝・三須俊枝・岩村俊輔・境田慎一 (NHK)
- 3-2 H.264/AVC 4チャンネルビデオエンコーダ装置におけるチャンネル間符号量制御機能
○佐野 卓・横張和也・新田高庸・池田充郎・上倉一人・清水 淳 (NTT)
- 3-3 カラー動画画像符号化のための時空間予測と色信号間予測の統合
○増川裕樹・深井寛修・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大)
- 3-4 動き補償と色信号間予測に基づいた可逆符号化方式のための予測器の設計法
○林 杏輔・深井寛修・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大)
- 3-5 再帰型イントラ予測における走査方向の切り替えに関する検討
○千代島智也・深井寛修・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大)

休憩 (10:40-10:50)

座長: 松尾康孝 (NHK)

- 3-6 形状可変な連続関数群を用いた画像近似手法とその符号化への応用
○浅川和宏・深井寛修・松田一朗・伊東 晋 (東京理科大), 河村 圭・内藤 整 (KDDI 研)
- 3-7 HEVC 符号化における算術符号化スループットの改善
○杉本和夫・峯澤 彰・関口俊一 (三菱電機)
- 3-8 主観画質に対する時空間解像度の影響
○高木基宏・藤井 寛・渡辺敬志郎・岡本 淳・清水 淳 (NTT)
- 3-9 ALF のブロック適応モードにおけるフィルタ数削減に関する考察
○松村誠明・高村誠之・清水 淳 (NTT)

第4部門 [テーマ講演] 携帯情報端末・スマートフォン応用

8月29日(水) 10:20-12:00 講義棟4階 第8会場

座長: 森田知宏 (三菱電機)

- 4-1 iPad を用いた出席管理システム
○宮崎光二 (福山大)

- 4-2 Android 携帯端末機の Bluetooth ネットワークを用いた韓国語学習システムの提案
○森 湧紀・菅原俊幸・金 義鎮・金 惠鎮（東北学院大）
- 4-3 携帯型 2 色覚・3 色覚双方向リアルタイム色覚シミュレータ
○比良祥子・木原 健・大塚作一（鹿児島大）
- 4-4 Android 端末用簡易 TVML プレイヤーの開発
○井上誠喜・金子浩之・浜口齊周・道家 守（NHK）
- 4-5 Wi-Fi マルチキャストを用いた映像配信システムの開発と評価
○志村修一・小原広行・木村寛明（KDDI 研）

第 5 部門 放送方式

8 月 29 日（水）13:00-16:30 講義棟 4 階 第 2 会場

座長：岩本正伸（TBS テレビ）

- 5-1 地上デジタル放送周波数再編（リパック）におけるワンセグノイズ付加方式の開発
○小畑泰寛（サンテレビジョン）、森本芳明（近畿総合通信局）、水谷照一（NHK 大阪）、高橋暢彦（DX アンテナ）
- 5-2 別府湾を伝搬する地上デジタルテレビ放送波の特性
○上田裕人・筋誠 久（NHK 大分）
- 5-3 船舶における地上デジタル放送への対応—練習船による各地での受信状態の調査—
○鈴木 治（鳥羽商船高専）、山下久雄・木村 琢・三好敏夫（航海訓練所）
- * 5-4 船内での SFN 時に生じる回り込みが C/N に与える影響
○伊藤暢宏・生岩量久・神尾武司・藤坂尚登（広島市大）
- * 5-5 地上デジタル放送におけるハイトパターンに関する考察
○矢吹 圭・生岩量久・神尾武司・藤坂尚登（広島市大）

休憩（14:40-14:50）

座長：古川雄一（東芝）

- * 5-6 地上波デジタル放送におけるガードインターバルのレプリカ信号を用いた長遅延波の除去に関する一検討
○山口謙一・山下弘樹・大野光平・伊丹 誠（東京理科大）
- 5-7 野外実験による超低レベル ISDB-T 信号検出装置の動作検証
○成清善一・中村円香・実井 仁・岡野正寛・高田政幸（NHK）
- 5-8 エリア放送用チャンネルフィルタの開発
○深澤友良・富田大滋・柴田 豊・高林 徹・本間康文（TBS テレビ）
- 5-9 デジタル放送のためのサイマルスクランブル方式
○井上友幸（NHK-ES）、小川一人（NHK）
- * 5-10 IC チップ改ざんによる有料放送不正視聴に関する一考察
○久山真宏（岡山理科大）

第6部門 放送現業

8月29日(水) 16:40-18:20 講義棟4階 第2会場

座長: 石田秀徳 (テレビ東京)

- 6-1 大震災アーカイブス メタデータ補完システムの試作
○住吉英樹・河合吉彦・望月貴裕・佐野雅規・藤井真人 (NHK)
- 6-2 無線LANにおける安定な映像伝送のためのリンク情報を用いたレート制御
○黒住正顕・青木勝典 (NHK), 安食和晃 (NHK アイテック)
- 6-3 ワイヤー導出型3次元座標計測手法によるカメラ位置の計測に関する基礎実験
○武藤一利 (NHK), 加藤大一郎 (NHK-ES), 岡本浩幸・Alessandro MORO (ライテックス)
- 6-4 超解像技術を応用した画質向上の解析と検討
○鈴木寿晃・藤原 徹・佐藤 誠 (日本テレビ)
- 6-5 位相調光制御対応LED駆動装置の開発ーLEDフラッドライトの実用化ー
○小寺勝馬・牧野鉄雄 (日本テレビ)

第7部門 [テーマ講演] 質感知覚と映像表現・メディア処理

8月29日(水) 14:10-17:00 講義棟4階 第4会場

座長: 新谷幹夫 (東邦大)

- 7-1 [特別講演]「質感脳情報学」プロジェクトにおける視覚的質感の記録・解析・再現に関する取り組み (40分)
○日浦慎作 (広島市大), 佐藤いまり (NII)
- 7-2 光沢制御のためのノイズを考慮した鏡面反射画像の分離
○小曳 尚・馬場雅裕 (東芝)
- * 7-3 野菜画像の色と輝度コントラストが鮮度認知に及ぼす影響
○櫻井勇介・岡嶋克典 (横浜国大)

休憩 (15:30-15:40)

座長: 日浦慎作 (広島市大)

- 7-4 人間の「細かさ」視知覚の基本特性
○新谷幹夫 (東邦大), 西田真也 (NTT)
- 7-5 ノイズ付加による「細かく」見せる画像生成
○新谷幹夫 (東邦大), 西田真也 (NTT)
- * 7-6 粒状付加によるシャープネス向上効果
○万 夏子・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)
- * 7-7 質感についての記憶構造とその感性効果
○陳 晨・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)

第8部門 コンピュータビジョン, ヒューマンインタフェース, その他

8月29日(水) 13:00-16:50 講義棟4階 第5会場

座長: 道家 守 (NHK)

- * 8-1 一枚画像からの反射成分分離と光源状況推定
○松田堯樹・原 健二・井上光平・浦浜喜一 (九大)
- 8-2 映像の被写体領域抽出を目的とした時空間領域分割手法の検討
○大久保英彦・藤井真人 (NHK)
- 8-3 特定物体認識のための最近傍密度推定に関する一検討
○内田祐介・酒澤茂之 (KDDI 研)
- 8-4 ズームを含む映像からのパノラマ画像生成手法の一検討
○上野智史・松尾賢治・内藤 整 (KDDI 研)
- 8-5 主観的尺度に合致した顔表情の強度推定と認識
○奥田 誠 (NHK/東大), 藤井真人 (NHK), 佐藤洋一 (東大)
- 8-6 SNS ユーザによる CG 映像コンテンツ制作
○道家 守・金子浩之・浜口齊周・井上誠喜 (NHK)

休憩 (15:00-15:10)

座長: 大久保英彦 (NHK)

- 8-7 Virtual Aqua Museum 実現のためのポテンシャル場による魚エージェントの挙動生成
○藤原千絵・大西那生・健山智子・榊原一紀・陳 延偉 (立命館大)
- 8-8 スマート端末を用いた同期型テキストコミュニケーション
○豊田陽介・小原朋広・米山暁夫 (KDDI 研)
- 8-9 インタラクティブ・パノラマ映像配信システムの検討 — ユーザインタフェース評価実験 —
○武田利明・越智大介・亀田明男・田中康暁・山口好江・能登 肇・深澤勝彦・木全英明・小島 明 (NTT)
- 8-10 VR とトランポリン運動を組み合わせたエンタテインメントシステム
○向 健次・三輪一博・浦野 幸・星野准一 (筑波大)
- 8-11 高階調表示に適した輝度差の検討
○井上未知美・佐藤美恵 (宇都宮大), 橋本直己 (電通大)

第9部門 ヒューマンインフォメーション

8月29日(水) 13:00-18:10 講義棟4階 第6会場

座長: 上向俊晃 (KDDI 研)

- * 9-1 内視鏡画像を用いた内痔コンピュータ診断に有効なうっ血特徴量
○高木秀典・阿部孝司 (近畿大), 南 昌秀 (金沢学院大)
- * 9-2 疎表現識別器を用いた病理染色画像に対する癌・非癌の判別
○栗田知美・谷口敦司・保坂忠明・浜本隆之 (東京理科大)
- 9-3 人物不特定可変テンプレートを用いた顔画像検出
○サイモン クリピングデル・藤井真人 (NHK)

- * 9-4 顔画像の Gabor 特徴による人物の年齢層推定 — 特定人物の顔の加齢変化に注目した特徴選択の効果 —
○菅田幸希・浅水宏文・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- 9-5 モーションキャプチャで計測される顔面のスパースな 3 次元情報による表情の違いの識別能力
○山本俊太・岩佐香織・永田俊介・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- * 9-6 視覚インタフェースのための頭部姿勢変動にロバストな視線方向識別手法の検討
○森藤夕騎・村松将尚・稲葉善典・赤松 茂 (法政大)
- 9-7 視線測定における対話的な誤差補正法の開発
○梅田修一・小峯一晃・比留間伸行 (NHK)

休憩 (15:30-15:40)

座長：半田拓也 (NHK)

- 9-8 写真スライドショー向け画像視覚特性に基づく旋律自動生成
○高山伸也・明堂絵美・酒澤茂之 (KDDI 研), 愛澤伯友 (デジタルハリウッド大)
- 9-9 楽曲スライドショーシステムの主観評価報告—スライドショーの品質向上に向けて—
○青木圭子 (KDDI 研), 石先広海 (KDDI), 米山暁夫・小野智弘 (KDDI 研)
- 9-10 あいまいな記憶下での抽象的クエリを許容する映画検索エンジン
○隅田飛鳥・池田和史・服部 元・小野智弘 (KDDI 研)
- 9-11 没入型ディスプレイを用いた海底漁学習コンテンツの制作
○井上哲理・李 在麟 (神奈川工科大), 柴田隆史 (東京福祉大/早大)
- * 9-12 視野映像の傾斜による頭部運動の誘導がシミュレータ酔抑制に与える効果
○加藤幹大・奥田 翔・山科貴史・本間秀典・河合敦夫・井須尚紀 (三重大)
- 9-13 高輝度, 広視角ディスプレイに対する臨界融合周波数特性
○江本正喜・菅原正幸 (NHK)
- 9-14 色域体積の算出におけるカラーアピランスモデルの比較
○正岡顕一郎 (NHK), Roy S. Berns・Mark D. Fairchild・浅野雄太 (ロチェスター工科大)

第 10 部門 [テーマ講演] ファイルベース制作・送出システムとメタデータ制作

8月29日(水) 14:00-16:30 講義棟 4階 第7会場

座長：八木伸行 (東京都市大)

- 10-1 ファイルベースシステムの局内導入—ファイル対応ビデオサーバシステムの導入—
○金山敏彦 (テレビ新広島)
- 10-2 ファイル素材伝送の運用状況および高速ファイル転送技術について
○國分和輝 (TBS テレビ)
- 10-3 ニュースセンターへの大規模ファイルベースシステムの導入について
○安藤亮一・勇崎秀俊・広瀬克昌・今関善晴・山田豊勝・大人誠之 (NHK)

休憩 (15:00-15:10)

- 10-4 FIMS 標準化活動のご紹介—メディア業界共通インターフェースの標準化活動—

- 金田瑞規 (ソニー)
- 10-5 UMID とその応用ー業界標準 AV 素材識別子 UMID の更なる活用に向けてー
 - 柴田賀昭 (メタフロンティア合同会社)
- 10-6 フレキシブル制作システムの実装概要
 - 金子 豊・竹内真也・黄 民錫・和泉吉則 (NHK)
- 10-7 メタデータ制作における自動化とメタデータ規格ーマルチメディア解析処理の導入をめざしてー
 - 佐野雅規・住吉英樹・藤井真人・柴田正啓 (NHK)

第 11 部門 コンシューマエレクトロニクスおよびマルチメディアストレージ

8月29日(水) 13:00-16:40 講義棟4階 第8会場

座長: 森田知宏 (三菱電機)

- *11-1 AVR マイコンを使った LED 植物工場の温度制御
 - 嶋森円矢・奥田治雄 (湘南工科大)
- 11-2 デジタルテレビを用いた情報報知システムに関する一検討
 - 上田健介・徳山 悟・湯川 純・三木智子 (三菱電機)
- 11-3 デジタルテレビ向けリモート UI クライアントに関する検討
 - 高橋寛明・島元秀満・網島健次 (三菱電機)
- 11-4 機器固有データ書き込みシステムの開発
 - 田中一弘・木村亜紀・三木智子・徳山 悟 (三菱電機)
- 11-5 小型梱包を目指した液晶テレビの開発
 - 大嶋律也・山下則夫・小島邦子・道盛厚司・南 浩次・杉浦博明 (三菱電機)

休憩 (14:40-15:00)

座長: 三嶋英俊 (三菱電機)

- 11-6 垂直磁化磁性細線における複数磁区の一斉電流駆動
 - 奥田光伸・宮本泰敬・宮下英一・林 直人 (NHK)
- 11-7 高精細ビットデータを用いたホログラムメモリにおける波面補償
 - 室井哲彦・木下延博・石井紀彦・上條晃司 (NHK), 川田善正 (静岡大), 菊池 宏 (NHK)
- 11-8 ホログラムメモリにおける再生等価器の実験的評価
 - 木下延博・室井哲彦・石井紀彦・上條晃司・菊池 宏 (NHK)
- 11-9 super-RENS ディスクにおける光変調再生特性
 - 大牧正幸・中井賢也・竹下伸夫・篠田昌久 (三菱電機), 島 隆之・中野隆志・富永淳二 (産総研)
- 11-10 超高精細映像記録のためのリアルタイムファイル化装置
 - 梶山岳士・川那真弓・宮下英一・林 直人 (NHK)

第 12 部門 [テーマ講演] HEVC 符号化

8月30日(木) 10:20-12:00 講義棟4階 第1会場

座長: 上倉一人 (NTT)

- 12-1 DCTを利用した複数の直交変換によるインター符号化
○市ヶ谷敦郎・杉藤泰子・境田慎一 (NHK)
- 12-2 H.264/AVCからHEVCへのトランスコードにおける予測ユニットサイズの低処理コスト推定方式
○吉野知伸・内藤 整 (KDDI 研)
- 12-3 HEVC符号化映像のNo Reference型客観評価に関する検討
○杉本 修・内藤 整 (KDDI 研)
- 12-4 HEVCにおける非対称分割を用いたイントラ符号化方式
○河村 圭・吉野知伸・内藤 整 (KDDI 研)
- 12-5 スーパーハイビジョン画像におけるHEVCとAVC/H.264との符号化性能比較
○杉藤泰子・松尾康孝・市ヶ谷敦郎・境田慎一 (NHK)

第13部門 CGモデリング&レンダリング

8月30日(木) 9:00-11:50 講義棟4階 第2会場

座長: 向井信彦 (東京都市大)

- 13-1 3次元形状の最適視点の決定
○近藤拓之・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)
- 13-2 マイクロポイント ノンスーパーサンプリングエイリアシングフリーアルゴリズム
高桑昌男 (フリーランス), ○飯倉宏治 (静岡理工科大)
- *13-3 B-スプライン基底を利用した陰関数曲面モデリング
○清水翔平・仲田 晋・田中 覚 (立命館大)
- *13-4 多重散乱光を考慮した生成画像による関与媒質の散乱特性の推定
○石丸功一・馬場雅志・日浦慎作・浅田尚紀 (広島市大)

休憩 (10:20-10:30)

座長: 馬場雅志 (広島市大)

- 13-5 ダンスの多様性向上のための拡張Motion Graphの生成
○今野智明・内田祐介・徐 建鋒・酒澤茂之 (KDDI 研)
- *13-6 厚みのある円筒ガラスの高速屈折表現手法
○牧野雄太・張 英夏・向井信彦 (東京都市大)
- 13-7 3次元点群の再構成に関する一手法
○栗野直之・山下主税・西尾孝治 (大阪工大), 金谷孝之 (広島国際大), 小堀研一 (大阪工大)
- *13-8 構成方程式の結合による粘弾性流体の曳糸性シミュレーション
○有松和重・張 英夏・向井信彦 (東京都市大)

第14部門 立体映像技術

8月30日(木) 9:30-12:20 講義棟4階 第3会場

座長：平山雄三(東芝)

- 14-1 立体映像における安全性の評価
○永谷広行(東芝)
- 14-2 モバイル機器における立体映像の快適性
○柴田隆史(東京福祉大/早大), 宗雪史弥・大島佳介・吉竹淳樹・河合隆史(早大)
- 14-3 視覚機能評価による無視差画枠ずらし臨場映像の検討
○夏井伸隆・林 尚希・石川和夫・名手久貴(東京工芸大), 畑田豊彦(東京眼鏡専門学校),
市原 裕・三宅信行・潮嘉次郎(ニコン)
- 14-4 撮影倍率の異なる2本の同期映像を用いた超解像ステレオ映像生成
○林 佑亮(徳山高専), 河合紀彦・佐藤智和(奈良先端大), 奥本 幸(徳山高専),
横矢直和(奈良先端大)

休憩(10:50-11:00)

- 14-5 極座標光線空間の高効率取得
臼井俊介・パナプールテヘラニ メヒルダド・藤井俊彰(名大),
○谷本正幸(名大/名古屋産業科学研究所)
- 14-6 縮小像のミラー走査による全周高密度光線取得
伊藤圭介・パナプールテヘラニ メヒルダド・藤井俊彰(名大),
○谷本正幸(名大/名古屋産業科学研究所)
- 14-7 ホログラフィ立体表示用スピン注入型空間光変調器の開発
○加藤大典・青島賢一・町田賢司・金城秀和・久我 淳(NHK), 石橋隆幸(長岡技科大),
菊池 宏・清水直樹(NHK)
- 14-8 複数のMEMSレーザープロジェクタを用いた視域拡大型インテグラル立体映像表示
○佐々木久幸・三浦雅人・洗井 淳(NHK)

第15部門 情報ディスプレイ

8月30日(木) 9:30-12:55 講義棟4階 第4会場

座長：別井圭一(日立)

- 15-1 極薄フィルム上に形成した酸化半導体 TFT の湾曲評価
○佐藤弘人・中田 充・本村玄一・中嶋宜樹・辻 博史・藤崎好英・武井達哉・山本敏裕・
藤掛英夫(NHK)
- 15-2 酸化半導体 TFT 特性の半導体膜厚依存性
○中田 充・辻 博史・佐藤弘人・中嶋宜樹・藤崎好英・武井達哉・山本敏裕・藤掛英夫(NHK)
- 15-3 フレキシブル有機 EL ディスプレイ用反射電極のスクリーン印刷形成
○清水貴央・本村玄一・深川弘彦・山本敏裕・藤掛英夫(NHK)
- 15-4 アモルファス IGZO TFT のシミュレータの開発
○辻 博史・中田 充・佐藤弘人・中嶋宜樹・藤崎好英・武井達哉・山本敏裕・藤掛英夫(NHK)
- 15-5 酸化半導体 TFT を用いた8インチフレキシブル有機 EL ディスプレイの開発

○中嶋宜樹・武井達哉・中田 充・佐藤弘人・辻 博史・藤崎好英・清水貴央・本村玄一・
深川弘彦・山本敏裕・藤掛英夫 (NHK)

休憩 (11:10-11:15)

座長：平野芳邦 (NHK)

*15-6 投影重畳領域でのコンテンツの投影結果推定による画質劣化を最小化するプロジェクタ選択手法

○田中章文・岩井大輔・佐藤宏介 (阪大)

15-7 マルチ画面同期表示システムの性能評価

○那須 督・助野順司・福田智教・小池正英 (三菱電機)

15-8 リアプロジェクション方式自由曲面ディスプレイの開発

○中原彰太・桑田宗晴・熊谷太郎・八木澤喬樹・松原 勉・小島邦子・道盛厚司・南 浩次・
杉浦博明 (三菱電機)

15-9 液晶ディスプレイ向け2種光源バックライトの放熱構造

○長瀬章裕・新倉栄二・篠崎 健・永安哲也・杉浦博明・近藤泰治 (三菱電機)

15-10 レーザーバックライト液晶テレビにおける光学系の開発

○中野菜美・村瀬令奈・香川周一・新倉栄二・花井晶章・笹川智広・南 浩次・
杉浦博明 (三菱電機)

第16部門 [テーマ講演] 放送通信連携

8月30日(木) 9:30-12:00 講義棟4階 第5会場

座長：石田秀徳 (テレビ東京)

16-1 Facebook API 利用した新しいソーシャルテレビ視聴サービス

○安藤聖泰 (日本テレビ)

16-2 IPDC 方式による放送通信連携の技術的検証

○坂梨裕基・草場 克・田中 翔・並川 巖 (関西テレビ)

16-3 個人向け番組宣伝スポット提示システム

○有安香子・中川俊夫 (NHK)

16-4 Hybridcast 受信機におけるアプリケーション認証方式の実装評価

○広中悠樹・大竹 剛・大亦寿之・大槻一博・遠藤洋介・真島恵吾 (NHK)

休憩 (10:50-11:00)

座長：岩本正伸 (TBS テレビ)

16-5 CG ストーリーミングを用いた番組連動手話映像配信・合成システム

○浜口斉周・馬場秋継・金子浩之・井上誠喜 (NHK)

16-6 放送通信連携サービスにおけるデバイス間同期方式

○川喜田裕之・西本友成・遠藤洋介・藤井亜里砂 (NHK)

16-7 インターネット情報からのニュースショー自動生成放送

○林 正樹 (ゴットランド大), 中嶋正之 (東工大/ゴットランド大),
ステューブン バチェルダ (ゴットランド大)

第17部門 情報センシング (1)

8月30日(木) 10:40-12:00 講義棟 4階 第7会場

座長: 大竹 浩 (NHK)

- 17-1 RTS noise and dark current reduction using selective averaging with multi-aperture system
○Bo Zhang・Keiichiro Kagawa・Min Woong Seo・Keita Yasutomi・Shoji Kawahito (Shizuoka Univ.)
- 17-2 小撮像面群構成型イメージセンサを用いた広ダイナミックレンジ撮像と高速動物体追跡
○山崎智裕・大高俊徳・浜本隆之 (東京理科大)
- *17-3 時間分解型 CMOS イメージセンサのための LEF 制御型電荷変調画素構造
○白グスル・韓 相萬・Kamel Mars・安富啓太・香川景一郎・川人祥二 (静岡大)
- 17-4 コントラスト貢献度による画像評価方法の提案
○恩田 翼・青木 透・豊田善隆・的場成浩 (三菱電機)

第18部門 [テーマ講演] 人にやさしい情報メディア技術

8月30日(木) 9:30-11:45 講義棟 4階 第8会場

座長: 澤島康仁 (NHK)

- 18-1 テレビ番組の探しやすさと選局の操作しやすさを特徴とする簡単リモコン GUI の試作と評価
○上向俊晃・加藤恒夫・小原朋広・加藤裕介・木村寛明 (KDDI 研)
- 18-2 視覚障害者向けデジタル放送受信機の開発
○半田拓也・坂井忠裕・清水俊宏 (NHK)
- 18-3 視覚障害者のための飲食店メニュー読み上げシステム
○小林慎平・松本哲也 (名大), 竹内義則 (大同大), 工藤博章・大西 昇 (名大)

休憩 (10:30-10:45)

- 18-4 顕著性に基づくカラーユニバーサルデザイン
○田嶋達裕 (NHK 長野), 小峯一晃 (NHK)
- 18-5 WebGL による手話 CG 生成の一検討
○金子浩之・浜口斉周・道家 守・井上誠喜 (NHK)
- 18-6 ニュース原稿のやさしい日本語ニュースへの書き換え支援ツール-日本在住外国人のために-
○美野秀弥・田中英輝 (NHK)

第19部門 [テーマ講演] 科学技術のフロンティアを切り拓くイメージセンサ技術

8月30日(木) 14:45-17:35 講義棟 4階 第7会場

座長: 大竹 浩 (NHK)

- *19-1 高距離分解能 TOF イメージセンサのための DOM 画素構造の検討
○児玉雅俊・安富啓太・韓 相萬・香川景一郎・川人祥二 (静岡大)
- 19-2 65nm プロセスを用いた二層構造オンチップメタル偏光子搭載イメージセンサ

- 岡林大恭・若間範充（奈良先端大），野田俊彦・笹川清隆・徳田 崇・
太田 淳（奈良先端大/JST-CREST）
- *19-3 マウス脳を通信媒体とするイメージセンサからのデジタル出力信号の無線伝送
 - 横田昇吾・橋本 力（奈良先端大），野田俊彦・笹川清隆・徳田 崇・
太田 淳（奈良先端大/JST-CREST）
- *19-4 刺入型 in vivo 脳神経活動計測用 CMOS イメージングデバイスの開発
 - 橋本 力（奈良先端大），小林琢磨・野田俊彦・笹川清隆・
徳田 崇（奈良先端大/JST-CREST），元山真由美・太田安美（奈良先端大），
石川保幸・塩坂貞夫・太田 淳（奈良先端大/JST-CREST）

休憩（16:05-16:15）

- 19-5 フルスペック SHV イメージセンサ用 12 ビットカラム並列 2 段サイクリック ADC の
低消費電力設計
 - 渡部俊久（NHK-ES/静岡大），北村和也（NHK/静岡大），澤本岳秀・小杉智彦・
赤堀知行・飯田哲也・磯部圭吾（ブルックマンテクノロジー），渡辺恭志（静岡大/ブルック
マンテクノロジー），島本洋・大竹 浩（NHK），青山 聡（ブルックマンテクノロジー），
川人祥二（静岡大/ブルックマンテクノロジー），江上典文（NHK）
- 19-6 スーパーハイビジョン用小型カメラヘッドの開発
 - 船津良平・山下誉行・添野拓司（NHK），柳 忠明（日立国際電気），高橋雄大（リンク），
吉田哲男（日立国際電気）
- 19-7 Pnpn-4 層裏面照射構造を用いた先端科学技術用撮像素子
 - 江藤剛治・Dao Vu Truong Son（立命館大），山田哲生（東京工芸大），新井俊樹（NHK）
- 19-8 高速 CMOS イメージセンサによる毎秒 1000 万コマ以上の撮像
 - 須川成利・栃木靖久・宮内 健・武田 徹・黒田理人（東北大）

第 20 部門 無線光伝送

8 月 31 日（金）9:00-12:50 講義棟 4 階 第 3 会場

座長：古川雄一（東芝）

- 20-1 低遅延デジタルラジオマイクの開発
 - 中村円香・岡野正寛・居相直彦・濱住啓之（NHK）
- 20-2 SHV 伝送用 120GHz 帯 FPU の検討
 - 岡部 聡・津持 純・杉之下文康（NHK）
- 20-3 ゴルフ中継用 42GHz 帯送り返し STBC 伝送システムの開発
 - 鈴木慎一・池田哲臣（NHK）
- 20-4 地上デジタル放送用反射板付き三角形双ループアンテナ
 - 山崎正明（福岡大）
- 20-5 日本海を越えて到来する UHF・TV 放送波の観測 [II]
 - 深見哲男・東 亮一（石川高専）

休憩（10:40-10:50）

座長：岩本正伸（TBS テレビ）

- 20-6 偏波 MIMO-超多値 OFDM 波の ROF 伝送実験
○朝倉慎悟・村山研一・田口 誠・藪 拓也・渋谷一彦・中戸川剛・川本潤一郎・
小山田公之 (NHK)
- *20-7 結晶基板の共振がマイクロ波帯 LN 光変調器の高感度・高周波化に与える影響
○藤本 光・生岩量久・神尾武司・藤坂尚登 (広島市大)
- 20-8 確率ネットワークモデルを用いた N パスマルチパス環境 CDMA 通信におけるディレイロック
ループの解析
○永田啓介・藤坂尚登・神尾武司・生岩量久 (広島市大)
- 20-9 TSMF を拡張した多重フレームを用いるケーブルテレビ大容量伝送装置の開発
○袴田佳孝・中村直義・小山田公之 (NHK)
- 20-10 ケーブル伝送方式の高度化に関する一考察
○野田 勉・徳竹政幸・松本修一 (日本ケーブルラボ)
- 20-11 TV ホワイトスペースを活用した災害・防災向けデータ伝送システムの検討
○秋山 仁・幸松孝憲・野田正樹・木下泰三・志村隆則・山下春造・志田雅昭・山崎良太 (日立)

第 21 部門 映像表現技術とその応用

8 月 31 日 (金) 9:00-12:10 講義棟 4 階 第 4 会場

座長：高橋時市郎 (東京電機大)

- 21-1 多視点ロボットカメラシステムを用いた映像表現手法
○池谷健佑・久富健介・片山美和・岩舘祐一 (NHK)
- 21-2 視覚特性に基づいた陽性残像表現手法
○三嶋道弘・Marcos Slomp・Bisser Raytchev・玉木 徹・金田和文 (広島大)
- 21-3 顕著性を反映したモルフォロジー演算による水彩画風変換
○永井有希・内田祐介・明堂絵美・酒澤茂之 (KDDI 研)
- 21-4 3DCG におけるマテリアルの関連性と重要性についての考察—果物のオブジェクトを中心に—
○趙 彦・秋山佳子 (西日本工大)

休憩 (10:20-10:30)

座長：奥田 誠 (NHK)

- 21-5 写実的な表現におけるマテリアルの重要要素についての考察
○沈 振東・趙 彦 (西日本工大)
- 21-6 視覚特性を利用した映像の光沢部分抽出手法—質感向上表現技術—
○坂庭秀紀 (日立/東工大), 福田伸宏・中嶋満雄 (日立), 廣田 薫 (東工大)
- 21-7 柔道初心者のための「崩し」を考慮した柔道シミュレーションシステムの構築
○劉 仁君・高橋時市郎・森谷友昭 (東京電機大)
- *21-8 投影面反射特性の不連続境界における高解像度カメラを用いた高精度色補正
○三原翔一郎・岩井大輔・佐藤宏介 (阪大)
- 21-9 ウルトラ CG—超高精細 4K/8K リアルタイム CG システム—
○林 正樹 (アストロデザイン/ゴットランド大), 井口昭彦・町田 聡 (アストロデザイン)

第 22 部門 情報センシング (2)

8月31日(金) 9:30-12:00 講義棟4階 第6会場

座長: 大竹 浩 (NHK)

- 22-1 カルコパイライト型半導体を適用した光電変換膜の基礎検討
○菊地健司 (NHK/慶大), 為村成亨・宮川和典・久保田節 (NHK)
- 22-2 放射光生体顕微鏡によるラット心での前臨床イメージング
ー心臓冠状動脈における血管機能異常の観察ー
○梅谷啓二 (高輝度光科学研究センター), ジェームズ ティー ピアーソン (モナッシュ大),
ダリル オー シュウェンケ (オタゴ大), 白井幹康 (国立循環器病研究センター)
- 22-3 Optimization of a high-speed response pixel for spatial optical communication using CMOS
light pulse receiver cell arrays
○Song Song・Keita Yasutomi・Keiichiro Kagawa (Shizuoka Univ.),
Isamu Takai (Toyota central R&D Labs), Shoji Kawahito (Shizuoka Univ.)
- 22-4 曲面に書かれた文章の補正
○楊 広宇・松本哲也 (名大), 竹内義則 (大同大), 工藤博章・大西 昇 (名大)

休憩 (10:50-11:00)

- 22-5 イメージセンサ冷却モジュールの熱解析
○亀濱博紀・安富啓太・香川景一郎・川人祥二 (静岡大)
- 22-6 31万画素裏面照射型超高速 CCD の 100万枚/秒時フルダイナミックレンジ動作
○新井俊希・米内 淳・大竹 浩 (NHK), 林田哲哉 (NHK-ES),
Harry van Kuijk (テレダインダルサ), 江藤剛治 (立命館大)
- 22-7 感度 13 倍改善した 31 万画素裏面照射型超高速 CCD
○新井俊希・米内 淳・大竹 浩 (NHK), 林田哲哉 (NHK-ES),
Harry van Kuijk (テレダインダルサ), 江藤剛治 (立命館大)

第23部門 画像・映像処理 (1)

8月31日(金) 9:00-12:10 講義棟4階 第8会場

座長: 井上光平 (九大)

- 23-1 Total Variation 正則化および量子化スケールコードを用いた MPEG-2 画像圧縮ひずみ除去
性能の改善
○田中将士・後藤富朗・平野 智・桜井 優 (名工大)
- 23-2 冗長 DCT と Color-Shrinkage を用いた雑音除去法の性能改善
○小松 隆・齊藤隆弘 (神奈川大)
- 23-3 再構成型超解像技術の限界ー静止画と映像の違いー
○合志清一 (工学院大)
- 23-4 主成分分析を用いた学習型超解像手法の画質改善
○三浦俊司・後藤富朗・平野 智・桜井 優 (名工大)
- *23-5 手書き線画への自動彩色

○信太孝友・東海林健二・森 博志・外山 史・宮道壽一（宇都宮大）

休憩（10:40-10:50）

座長：小松 隆（神奈川大）

- 23-6 屋外景観のレンジデータの欠損補填とその画像処理への応用
○鹿野貴文・渡辺和樹・小松 隆・齊藤隆弘（神奈川大）
- 23-7 クローズドキャプションと画像特徴を考慮した反復的学習に基づく映像検索システム
○河合吉彦・藤井真人（NHK）
- 23-8 統合色リストに基づく番組映像のシーン系列生成
○福田直記（フジテレビ）、望月貴裕・佐野雅規・藤井真人（NHK）
- 23-9 色の重要度に基づくピクセルアートの可逆的な幾何学的平滑化
李 思旭・○井上光平・浦浜喜一（九大）

第 24 部門 デモセッション

8月31日（金）13:00-16:00 講義棟4階 第5会場

座長：滝嶋康弘（KDDI 研）

- 24-1 自由視聴点技術に基づくスマートフォン向けミュージックビデオアプリケーション
○堀内俊治・三功浩嗣・加藤恒夫・内藤 整（KDDI 研）
- 24-2 Interactive Control of Dance Animation with Music for a Mobile AR Application
○Jianfeng XU・Shigeyuki SAKAZAWA（KDDI R&D Labs）
- 24-3 ソーシャルメディアを利用したテレビ番組シーンへのインデキシング手法の提案
○中澤昌美・池田和史・服部 元・小野智弘（KDDI 研）
- 24-4 被写体領域に重きを置いたサブブロック設定による画像検索
○望月貴裕・住吉英樹・佐野雅規・藤井真人（NHK）
- 24-5 HTML5を用いたコミック風写真スライドショー生成システム
○明堂絵美（KDDI 研）、高木幸一（KDDI）、酒澤茂之（KDDI 研）
- 24-6 てのひらの線分検出による携帯端末向け拡張現実感システム
○加藤晴久・米山暁夫（KDDI 研）

《公開講演会講演内容に関するデモ》

- ・ハイブリッドキャストの展開と標準化動向
藤沢 寛（NHK）
- ・地上デジタル放送波にIPを重畳するマルチスクリーン型放送サービス
赤藤倫久（朝日放送）

※この他に、「キネクト，スマートフォンアプリ，AR等，体感型アプリの世界」に関する作品展示も予定しております。

第 25 部門 画像・映像処理（2）

8月31日(金) 13:00-16:30 講義棟4階 第8会場

座長: 根岸博康 (三菱電機)

- 25-1 勾配ノルムに基づくヒストグラム均等化
○井上光平・原 健二・浦浜喜一 (九大)
- *25-2 胃 X線 2重造影像から健常胃を判別するために有効な特徴量
○信岡哲也・阿部孝司 (近畿大), 南 昌秀 (金沢学院大)
- *25-3 ドロネー三角形分割を用いた幅一定領域の抽出
○庄子 智・東海林健二・森 博志・外山 史・宮道壽一 (宇都宮大)
- *25-4 漫画画像からの手書き擬音文字抽出
○劉 向萍・東海林健二・森 博志・外山 史・宮道壽一 (宇都宮大)
- 25-5 ICAを用いたデジタル画像の色合い変換
○篁 直樹・藤田和弘 (龍谷大), 桶谷新也 (京都府中小企業技術センター),
中森伸行 (京都工芸繊維大)

休憩 (14:40-14:50)

- *25-6 内視鏡画像を用いた内痔認識に有効な突起特徴量
○日根野明・阿部孝司 (近畿大), 南 昌秀 (金沢学院大)
- 25-7 Nd-H/Fe(B)混相組織のSEM像のクラスタリング法
○太田圭祐・相川直幸・公文翔一・田村隆治 (東京理科大)
- *25-8 可逆電子透かしを用いた多重階層型改ざん位置検出方式
○谷口敢一・今泉祥子・青木直和・小林裕幸 (千葉大)
- 25-9 画像からのバドミントンスマッシュの解析
○永沢慎子・羽鳥好律 (東工大), 角田 貢・林 忠男・関根義雄 (日体大)
- 25-10 Wavefront Codingにおけるステレオ情報に基づく再構成フィルタ選択
○大倉水斗・佐藤俊一・保坂忠明・浜本隆之 (東京理科大)

デモ作品発表

『キネクト, スマートフォンアプリ, AR等, 体感型アプリの世界』

8月31日(金) 13:00-16:00 講義棟4階 第2会場

座長: 熊澤逸夫 (東工大)

- ① Terror in Fog~距離情報を利用した複合現実型霧表現~
田村和弥・酒井章伸 (立命館大学 情報理工学部)
- ② eコマースのためのサイズ感を考慮したファッションコーディネート支援
益子 宗・林 靖之・星 鉄矢 (楽天(株) 楽天技術研究所)
- ③ 漫画の世界へ
梅田大樹 (東京電機大学 大学院 未来科学研究科)
- ④ ジェスチャ操作による被爆資料の電子展示

安田純平・山口恭兵・馬場雅志・日浦慎作・浅田尚紀（広島市立大学）

⑤ Kinect と iPad 連携によるインタラクティブな患者支援システム

神谷直希・大崎裕貴・近藤 潤（豊田工業高等専門学校 情報科学専攻）

藤田広志（岐阜大学大学院 医学系研究科）